



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月9日

上場会社名 タビオ 株式会社
 コード番号 2668 URL <http://www.tabio.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 越智 勝寛
 (氏名) 谷川 繁
 TEL 06-6632-1200

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	11,736	3.4	266	17.7	280	19.6	32	△84.9
29年2月期第3四半期	11,351	△7.5	226	△59.2	234	△59.4	217	△27.1

(注)包括利益 30年2月期第3四半期 74百万円 (△60.8%) 29年2月期第3四半期 189百万円 (△32.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	4.84	—
29年2月期第3四半期	31.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	9,495	5,670	59.7
29年2月期	9,250	5,800	62.7

(参考)自己資本 30年2月期第3四半期 5,670百万円 29年2月期 5,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年2月期	—	0.00	—		
30年2月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,269	2.5	475	△3.0	494	△1.7	107	△54.3	15.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期3Q	6,813,880 株	29年2月期	6,813,880 株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	1,826 株	29年2月期	1,826 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期3Q	6,812,054 株	29年2月期3Q	6,812,054 株

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年3月1日～平成29年11月30日）における国内経済におきましては、企業収益や雇用環境の改善、株高による高額品消費やインバウンド需要による消費の下支えにより、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、賃金の上昇ペースは鈍く、根強い節約志向が続いていることから、個人消費の回復には力強さを欠いている状況が続いております。

国内衣料品販売におきましては、店頭における低価格品への強いニーズや天候不順による顕著な消費動向の変化により、ファッション消費は苦戦を強いられておりますが、一方で情報源としてSNSが存在感を高める中、ストーリー性のある商品やこだわりのある高付加価値商品に対する需要は高く、商品を使うことで得られる体験型のコト消費などは盛り上がりを見せるなど、多様化するニーズにどれだけ柔軟に対応できるかが今後の重要課題となっております。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に変化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、ネットとリアルとの融合を図るために、通販アプリや客注システムを導入し、店頭のオムニチャネル化を本格的に始動することにより、1人1人のお客様のニーズに合わせたサービスや利便性を追求すると共に、品揃えを厳選し、おすすめ商品や売れ筋商品を分かり易く提案することに尽力して参りました。また、今期秋からは他業種との協業出店を行う事により、専門店としてのシナジー効果の発揮と収益効率の向上に向けた試験的取り組みを行って参りました。

「ショセツ関連部門」における「ショセツ事業」では、「GINZA SIX」等で代表されるハイセンスな立地での『タビオ』店舗の確立と店頭でのオムニチャネル戦略に取り組んでいくと共に、『靴下屋』店舗との差別化を図り、働く大人の女性に向けた高付加価値商品の企画・提案を行って参りました。また、「紳士靴下事業」では、メンズ単独店やレディース・メンズの複合店におけるメンズ売場の確立に尽力して行くと共に、定番商品の強化や商品ラインナップの拡充を図っていくことにより、お客様の購買意欲を喚起することのできる商品提案に努めて参りました。

海外展開におきましては、ロンドンとパリにおける既存店舗の強化と欧州事業の安定した収益基盤の確立に取り組むと共に、北米ではEC事業を立ち上げ、SNS等による販促を行いながらテスト販売を開始致しました。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店3店舗、直営店2店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店5店舗、直営店3店舗の退店により、当第3四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店99店舗、直営店182店舗（海外4店舗を含む）、合計281店舗となりました。

利益面におきましては、第1四半期において、当社の連結子会社であったTabio Europe Limitedの清算が完了したことに伴う為替換算調整勘定の取崩額40百万円を関係会社清算損として計上致しました。また、繰延税金資産の回収可能性を検証した結果、資産除去債務に係る繰延税金資産を92百万円取崩し、法人税等調整額（税金費用）を同額計上致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,736百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は266百万円（前年同期比17.7%増）、経常利益は280百万円（前年同期比19.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32百万円（前年同期比84.9%減）となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期（3月～8月）に比べ下半期（9月～2月）に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金733百万円、投資その他の資産その他207百万円減少しましたが、売掛金637百万円、商品422百万円、無形固定資産96百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて245百万円増加し、9,495百万円となりました。

負債については、長期借入金215百万円、電子記録債務133百万円減少しましたが、買掛金520百万円、流動負債のその他226百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて376百万円増加し、3,825百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて130百万円減少し、5,670百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の62.7%から59.7%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期における通期の業績予想については、平成29年10月6日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,043,276	2,309,291
売掛金	700,479	1,337,781
商品	643,283	1,065,285
貯蔵品	512	429
その他	213,563	276,687
貸倒引当金	-	△2,749
流動資産合計	4,601,114	4,986,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,014,194	941,689
土地	1,182,654	1,182,654
その他（純額）	337,566	381,409
有形固定資産合計	2,534,416	2,505,754
無形固定資産	372,596	469,159
投資その他の資産		
差入保証金	1,402,690	1,402,112
その他	339,353	132,157
投資その他の資産合計	1,742,044	1,534,269
固定資産合計	4,649,056	4,509,183
資産合計	9,250,171	9,495,910
負債の部		
流動負債		
買掛金	576,639	1,097,529
電子記録債務	680,267	546,576
短期借入金	292,800	288,800
未払法人税等	57,182	6,550
賞与引当金	90,360	28,666
ポイント引当金	10,341	13,730
資産除去債務	-	3,881
その他	574,910	801,476
流動負債合計	2,282,501	2,787,212
固定負債		
長期借入金	434,800	219,200
退職給付に係る負債	170,541	188,787
資産除去債務	298,279	303,911
その他	263,120	326,138
固定負債合計	1,166,741	1,038,037
負債合計	3,449,242	3,825,249

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	5,325,473	5,154,092
自己株式	△1,000	△1,000
株主資本合計	5,831,686	5,660,305
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△30,757	10,355
その他の包括利益累計額合計	△30,757	10,355
純資産合計	5,800,929	5,670,661
負債純資産合計	9,250,171	9,495,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	11,351,062	11,736,615
売上原価	5,014,853	5,134,819
売上総利益	6,336,208	6,601,796
販売費及び一般管理費	6,109,534	6,335,078
営業利益	226,674	266,718
営業外収益		
受取利息	205	122
受取配当金	-	37
仕入割引	8,394	8,979
為替差益	-	2,664
受取手数料	753	450
その他	5,727	5,180
営業外収益合計	15,079	17,433
営業外費用		
支払利息	3,107	3,263
為替差損	3,649	-
その他	615	586
営業外費用合計	7,371	3,850
経常利益	234,382	280,301
特別損失		
固定資産除却損	13,701	4,682
関係会社清算損	-	40,777
減損損失	36,401	13,268
特別損失合計	50,103	58,728
税金等調整前四半期純利益	184,278	221,572
法人税、住民税及び事業税	50,085	33,201
法人税等調整額	△83,719	155,390
法人税等合計	△33,634	188,591
四半期純利益	217,913	32,980
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,913	32,980

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	217,913	32,980
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△28,832	41,112
その他の包括利益合計	△28,832	41,112
四半期包括利益	189,081	74,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,081	74,093
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。